

最近の経済動向

令和元年5月号

北海道の景気動向(平成31年3月の経済指標を中心として)

緩やかに持ち直している

■ 鉱工業生産動向

P 1 生産活動(鉱工業生産指数)
弱めの動きとなっている

■ 需要動向(消費・投資)

P 2 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、
P 3~4 専門量販店販売額、新車登録台数)
回復している

P 4 住宅建設(新設住宅着工戸数)
弱い動きとなっている

P 4~5 公共工事(公共工事請負金額)
減少している

P 5 観光(来道者数)
改善している

P 6 輸出入(輸出入額)
輸出額、輸入額とも前年を下回った

■ 企業倒産

P 6 企業倒産(件数、負債総額)
倒産件数は前年と同数だが、負債総額は増加した

■ 雇用動向

P 7 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善が進む中、人手不足感がみられる

P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■ 物価動向

P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■ 企業の業況感

P 8 企業経営者意識調査
前期から上昇している

■ 企業情報

P 9 企業のみなさまから伺いました

■ 地域の経済動向

P 10 道南地域、道央地域、道北地域、オホーツク地域、十勝地域、釧路・根室地域

■ 景気動向指数

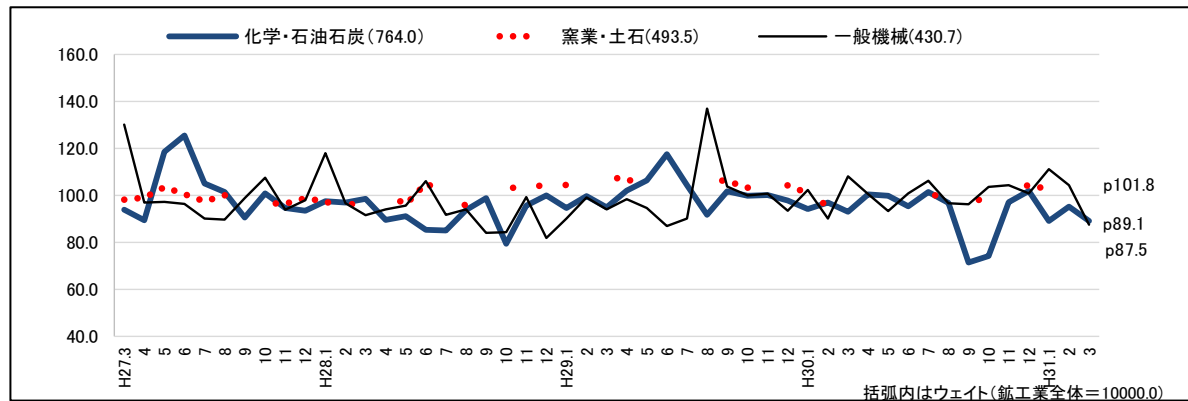
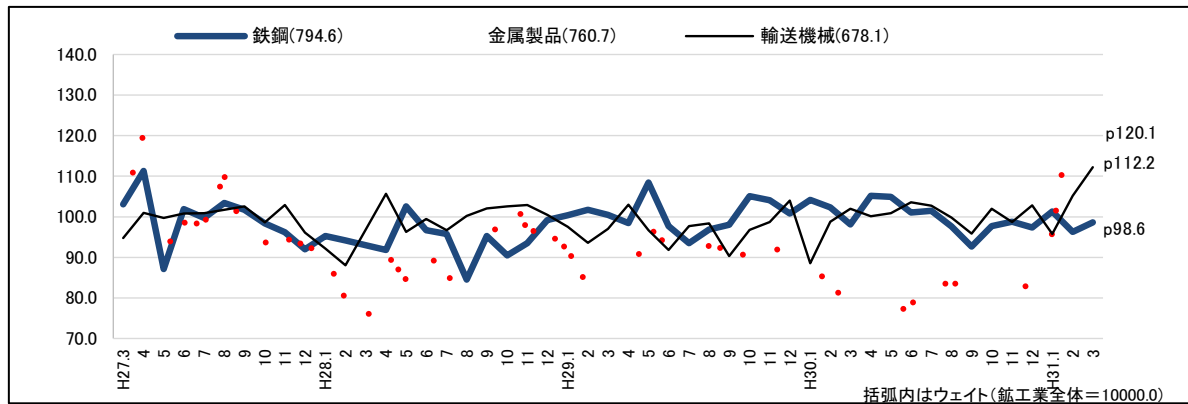
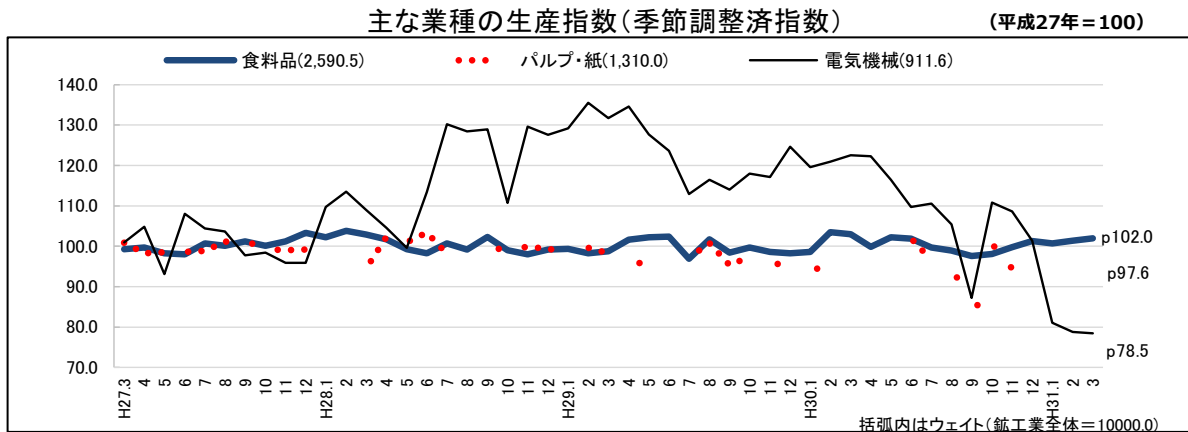
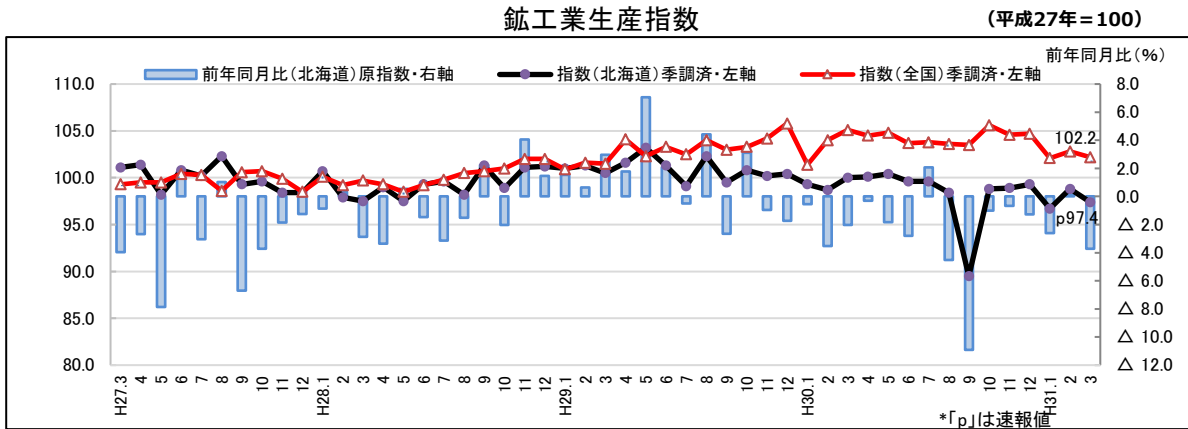
P 16 北海道の景気動向指数

北海道経済部経済企画局経済企画課

■生産活動～弱めの動きとなっている

鉱工業生産指数（3月）

鉱工業生産指数(季節調整済)は、97.4で前月比△1.4%(2か月ぶりの低下)であり、原指数による前年同月比は、△3.7%(2か月ぶりの低下)となった。業種別にみると、化学・石油石炭製品工業など9業種が前月比低下、鉄鋼業など6業種が前月比上昇となった。



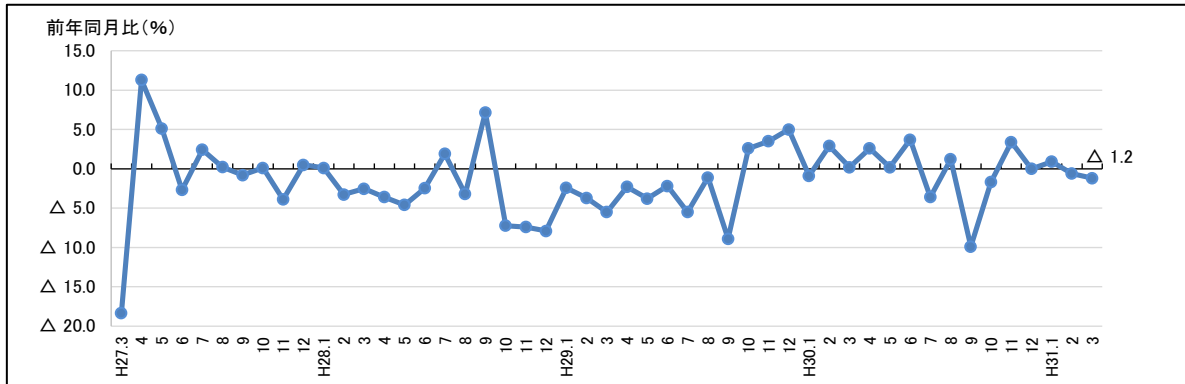
(資料: 北海道経済産業局)

■個人消費～回復している

百貨店販売額(全店ベース)(3月)

百貨店販売額は、175億円で前年同月比1.2%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。

百貨店販売額の前年同月比【全店ベース】

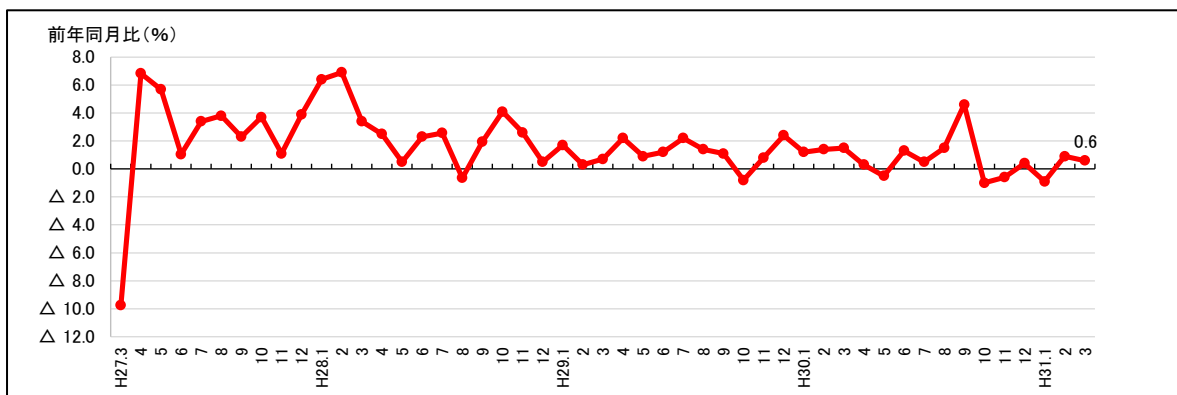


(資料：北海道経済産業局)

スーパー販売額(全店ベース)(3月)

スーパー販売額は、641億円で前年同月比0.6%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。

スーパー販売額の前年同月比【全店ベース】

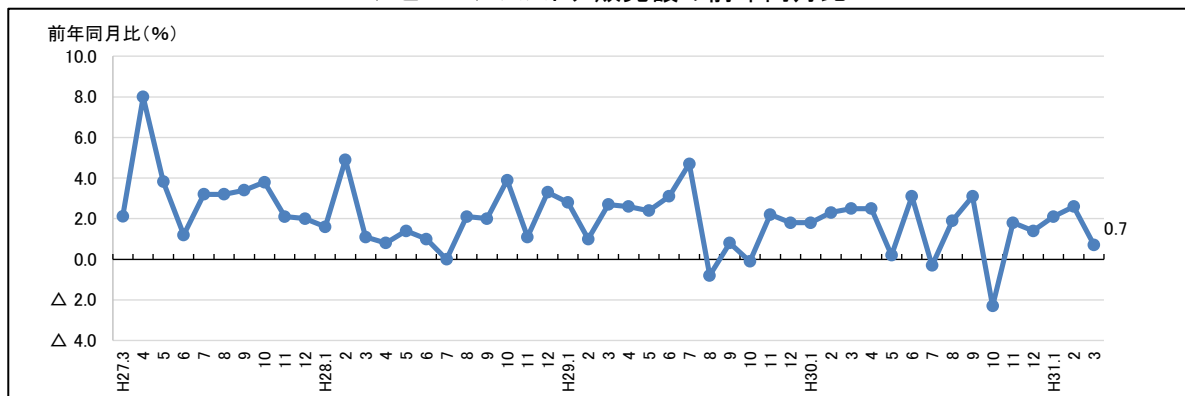


(資料：経済産業省)

コンビニエンスストア販売額 (3月)

コンビニエンスストア販売額は、468億円で前年同月比0.7%の増加となり、5か月連続で前年を上回った。

コンビニエンスストア販売額の前年同月比

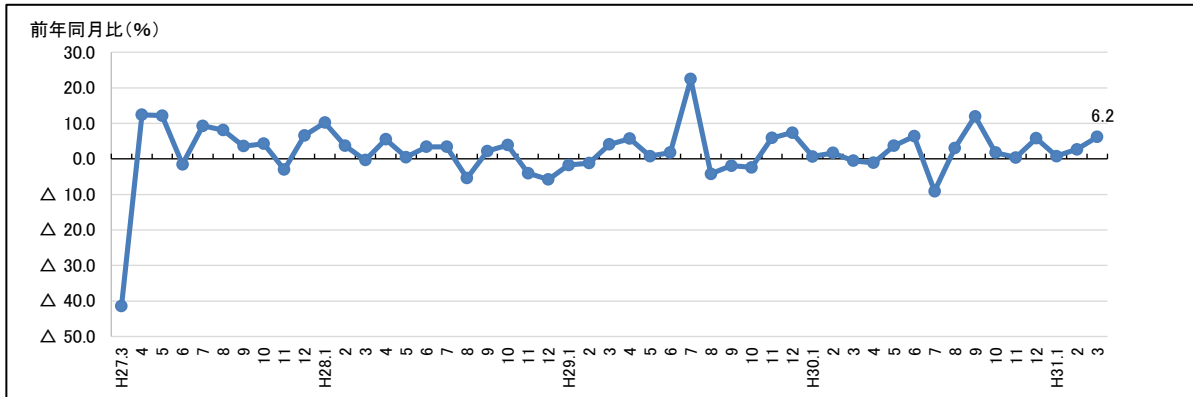


(資料：経済産業省)

家電大型専門店(3月)

家電大型専門店販売額は、149億円で前年同月比6.2%の増加となり、8か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額の前年同月比

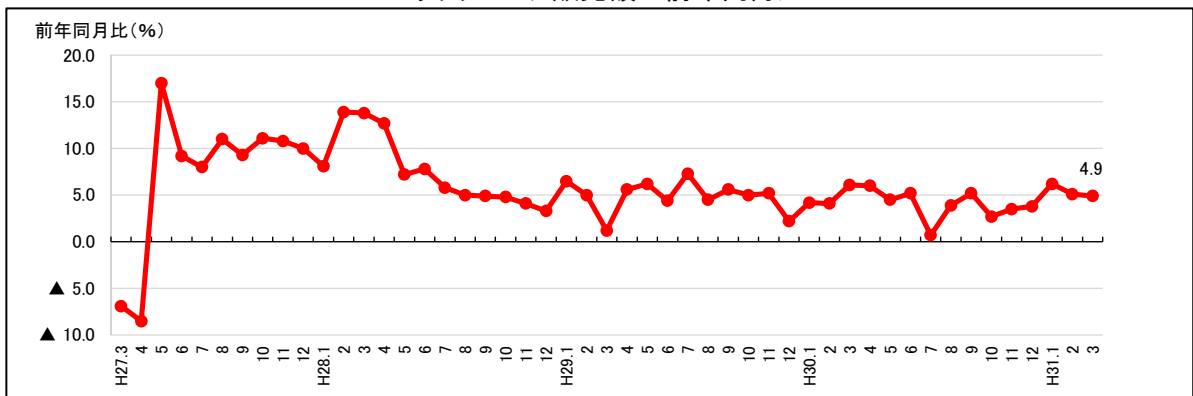


(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額(3月)

ドラッグストア販売額は、208億円で前年同月比4.9%の増加となり、47か月連続で前年を上回った。

ドラッグストア販売額の前年同月比

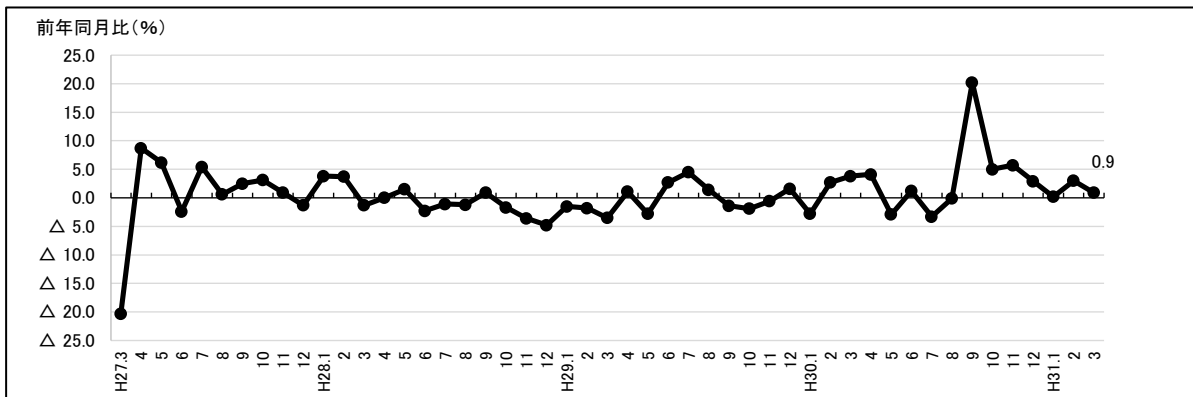


(資料：経済産業省)

ホームセンター(3月)

ホームセンター販売額は、96億円で前年同月比0.9%の増加となり、7か月連続で前年を上回った。

ホームセンター販売額の前年同月比

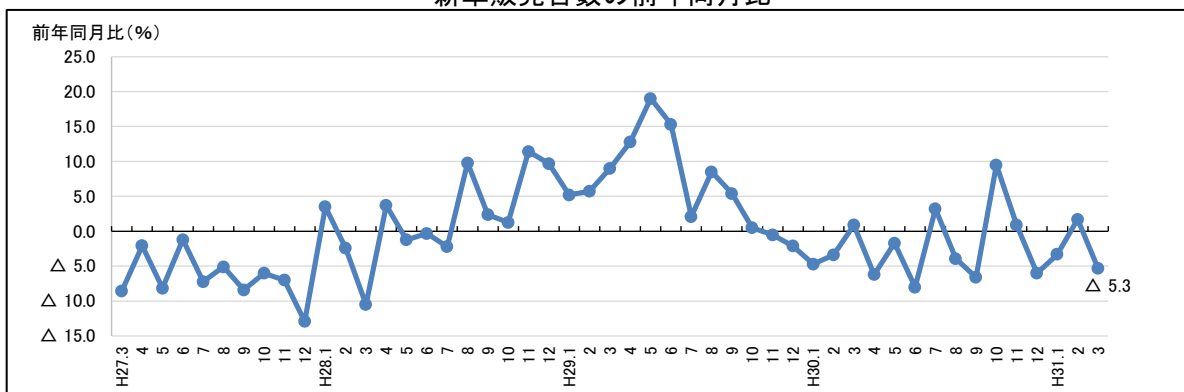


(資料：経済産業省)

新車登録台数（3月）

新車登録台数は、23,934台で前年同月比5.3%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。車種別にみると、普通車は、9,083台で同11.5%の減少、小型車は、7,483台で同1.1%の増加、軽自動車は、7,368台で同3.3%の減少となった。

新車販売台数の前年同月比



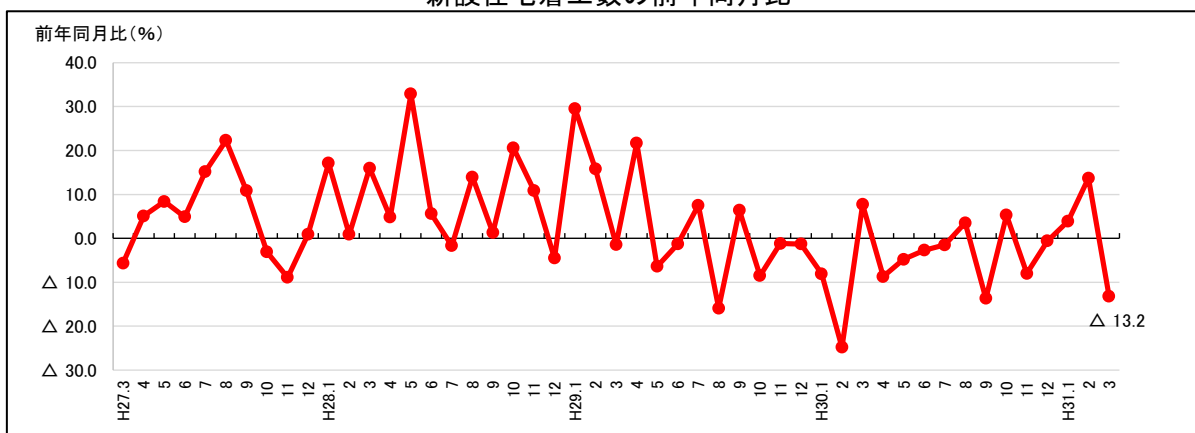
((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設～弱い動きとなっている

新設住宅着工戸数（3月）

住宅着工戸数は、2,443戸で前年同月比13.2%の減少となり、3か月ぶりに前年を下回った。利用関係別にみると、持家は、827戸で同18.1%の増加、貸家は、1,216戸で同30.0%の減少、分譲住宅は、395戸で同6.2%の増加となった。

新設住宅着工数の前年同月比



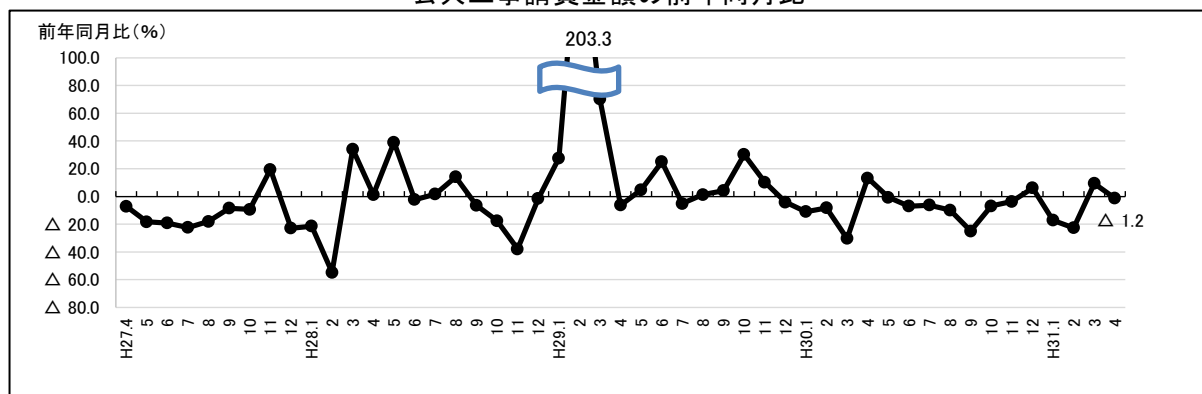
(資料：国土交通省)

■公共工事～減少している

公共工事請負金額（4月）

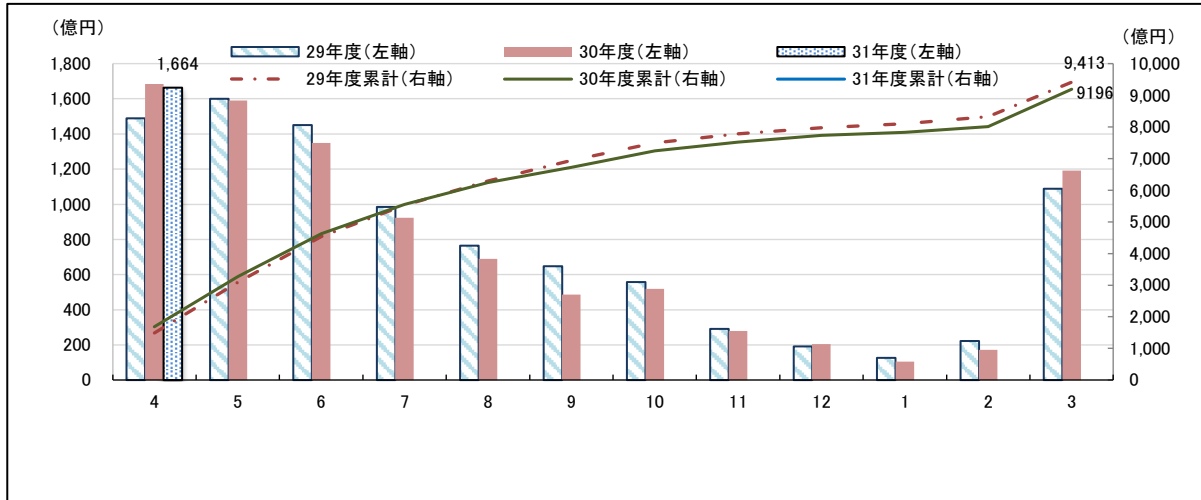
請負金額は、1,664億円の前年同月比1.2%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。

公共工事請負金額の前年同月比



(資料：(株)北海道建設業信用保証)

公共工事請負金額

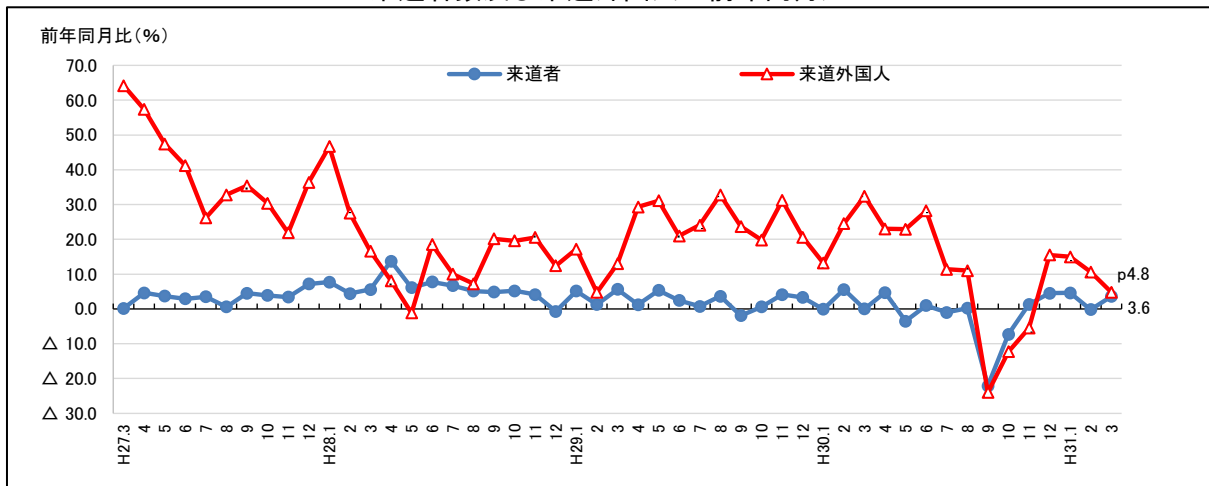


■ 観光～改善している

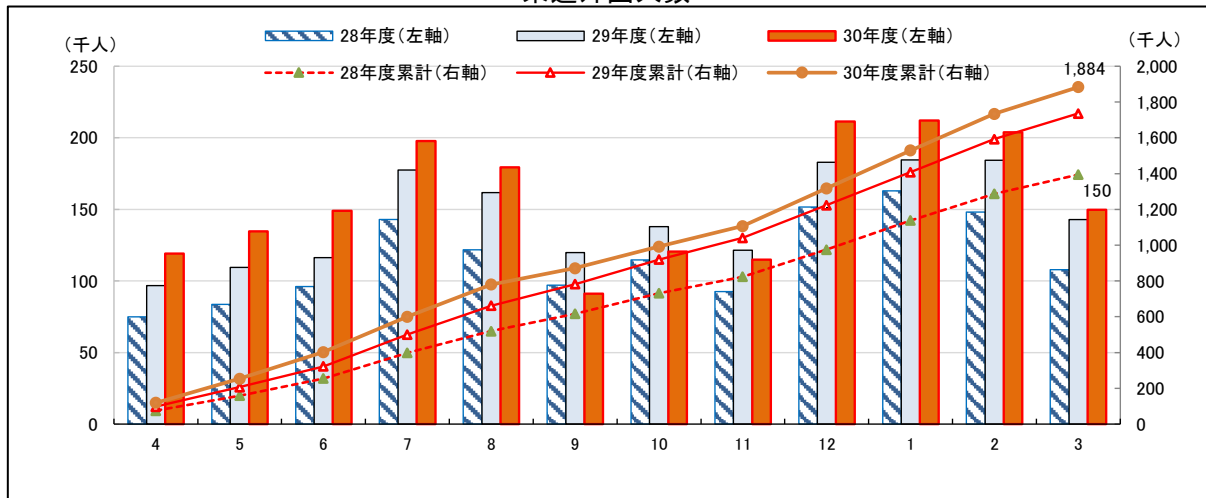
来道者数(3月)

来道者数は、112万9千人で前年同月比3.6%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。本道に直接入国した外国人は、15万人で同4.8%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

来道者数及び来道外国人の前年同月比



来道外国人数

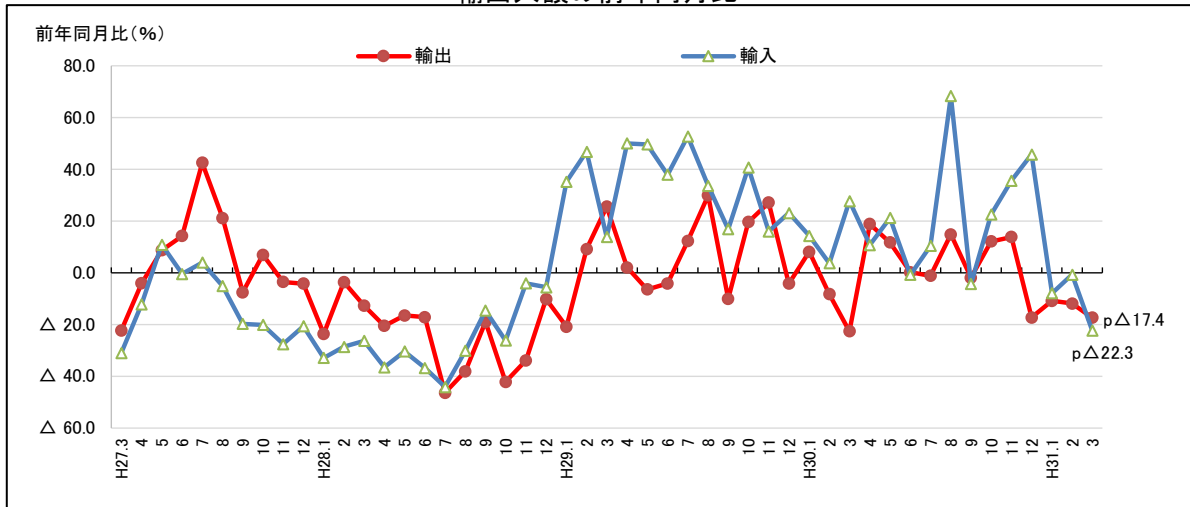


■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

輸出入額（3月）

輸出額は、282億円で前年同月比17.4%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。
 品目別にみると、魚介類・同調製品、鉄鋼くず、有機化合物などが減少した。
 輸入額は、964億円で同22.3%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。
 品目別にみると、石油製品、原油・粗油、石油ガス類などが減少した。

輸出入額の前年同月比



(資料: 函館税関)

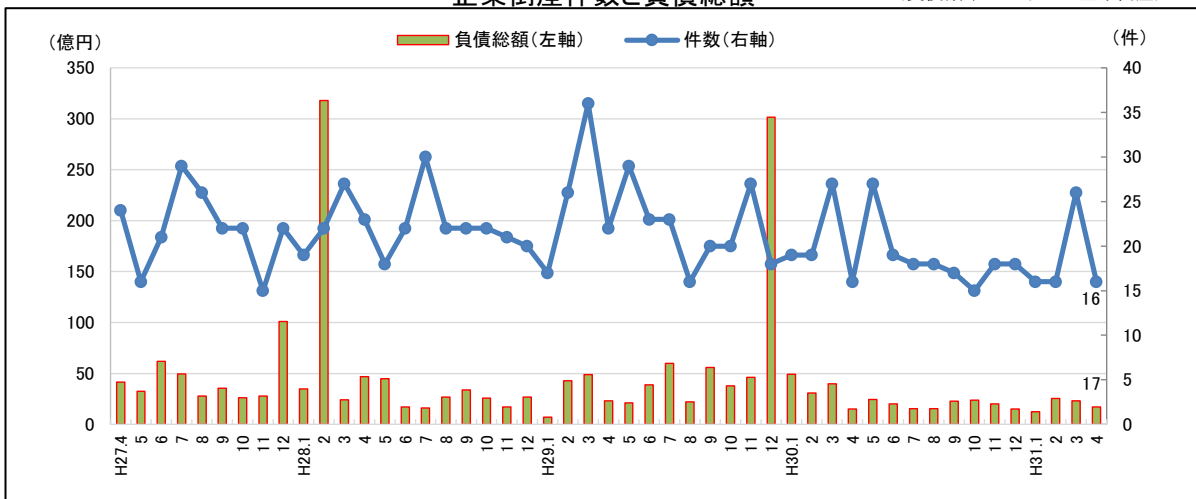
■企業倒産～倒産件数は前年と同数だが、負債総額は増加した

企業倒産（4月）

企業倒産件数は、16件で前年同月と同数となり、負債総額は、17億12百万円で同12.6%の増加となり、11か月ぶりに前年を上回った。
 原因別でみると、販売不振が13件(構成比 81.3%)と半数以上を占めた。
 業種別でみると、サービス・他が5件(同31.3%)で最多となり、小売業が4件(同25.0%)、建設業、製造業が各2件(同12.5%)と続いた。

企業倒産件数と負債総額

(負債額1,000万以上の企業倒産)



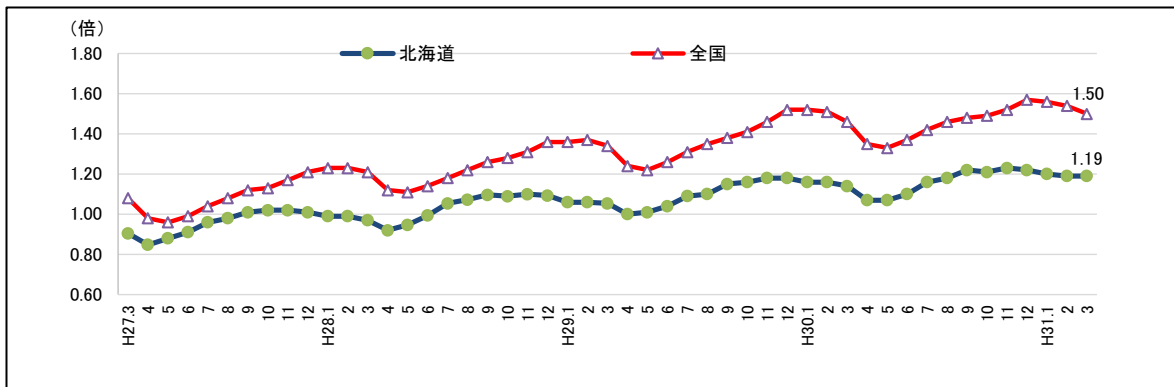
(資料: (株)東京商工リサーチ北海道支社)

■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

月間有効求人数・求職者数・有効求人倍率（3月）

月間有効求人数は、9万6,163人で前年同月比1.7%の増加となり、6か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、8万1,046人で同2.3%の減少となり、89か月連続で前年を下回った。
 有効求人倍率は、1.19倍で前年同月差で0.05ポイントの増加となり、110か月連続で前年を上回った。

有効求人倍率(常用)



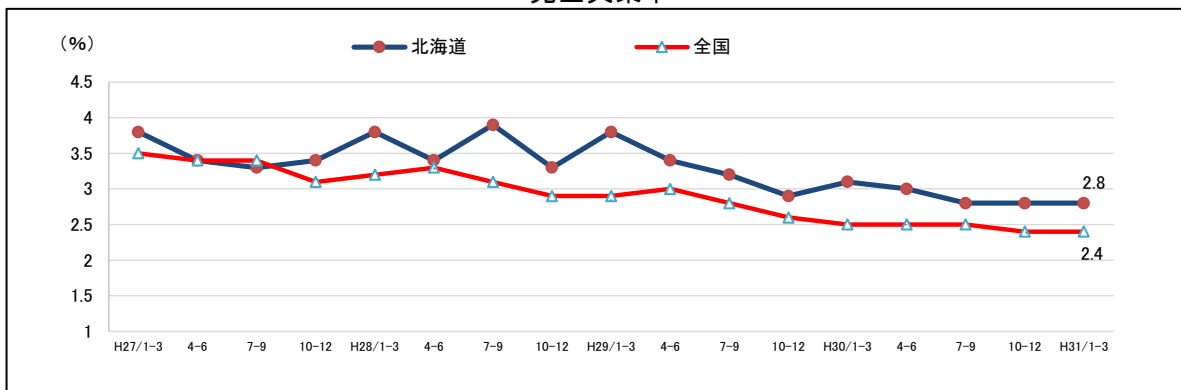
(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

■失 業

完全失業者数、完全失業率(31年1-3月期)

完全失業者数は、7万人で前年同期と比べ、1万人の減少となっている。
 完全失業率は、2.8%で前年同期と比べ、0.3ポイント低下となっている。

完全失業率



(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

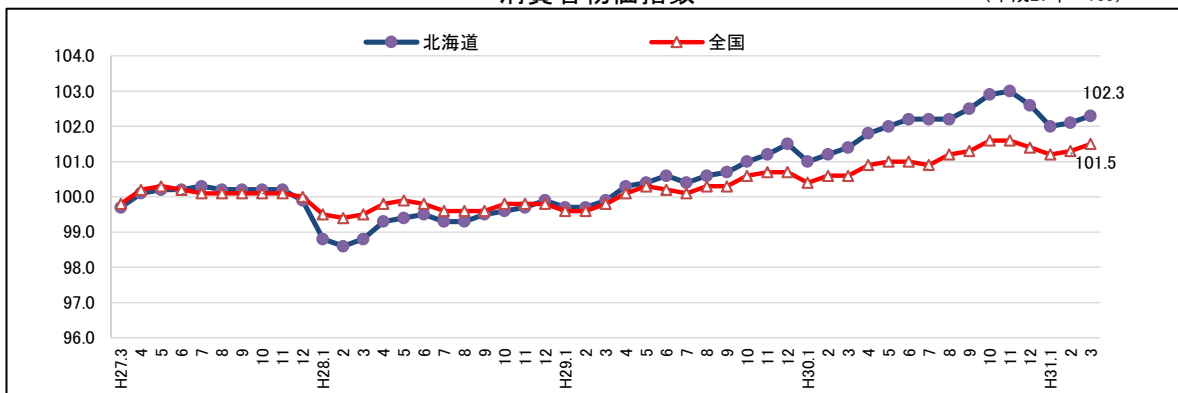
■物 価～消費者物価指数は前年を上回った

消費者物価指数(生鮮食品除く)(3月)

消費者物価指数は、102.3で前年同月比0.8%の上昇となり、28か月連続で前年を上回った。

消費者物価指数

(平成27年=100)



(資料:総務省)

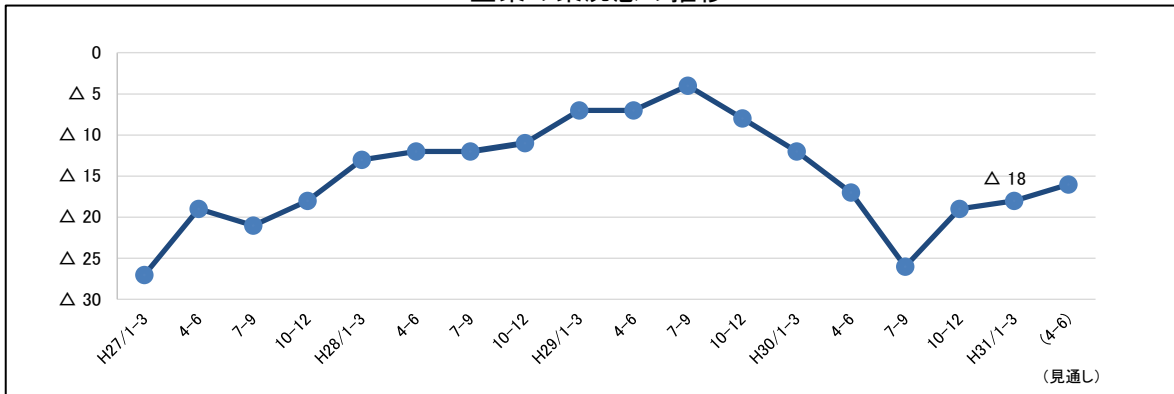
■企業の業況感～前期から上昇している

企業経営者意識調査（31年1-3月期）

今期の業況感BSIは、△18で前期から1ポイント上昇した。

- ・業種別では、建設業、運輸業、サービス業で上昇、製造業、卸売・小売業で下降した。
- ・地域別では、道南、道央、オホーツク、釧路・根室で上昇、道北、十勝で下降した。

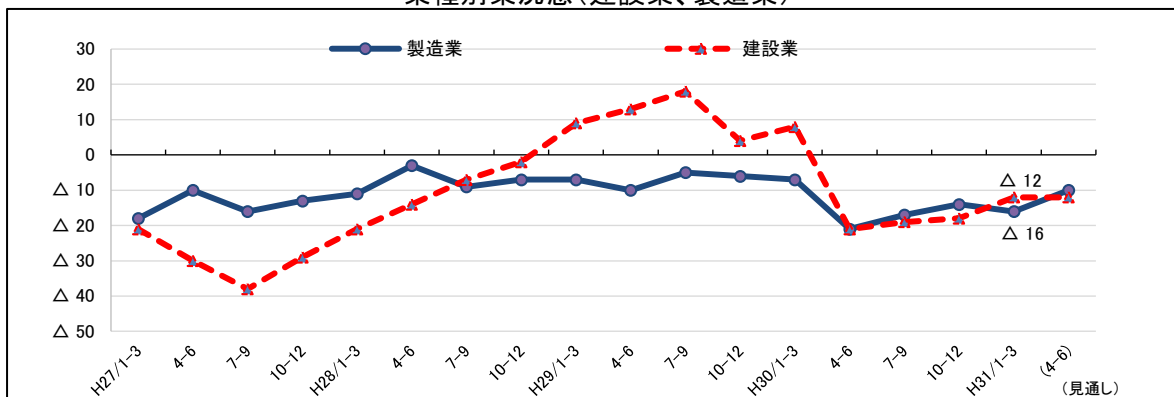
企業の業況感の推移



(見通し)

(資料:北海道)

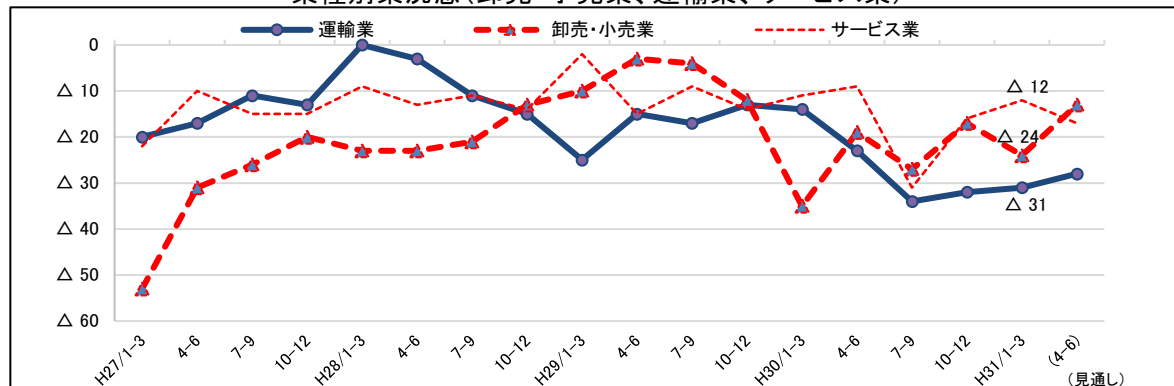
業種別業況感(建設業、製造業)



(見通し)

- 【建設業】 6ポイント上昇 (前期 △18 → 今期 △12) (資料:北海道)
- ・電気工事業などの設備工事業でプラスに転換、土木工事業などの総合工事業でマイナス幅が縮小
- 【製造業】 2ポイント下降 (前期 △14 → 今期 △16)
- ・食料品製造業や窯業・土石製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業などでマイナス幅が拡大、飲料・たばこ・飼料製造業や家具・装備品製造業でプラス幅が縮小
 - ・プラスチック製品製造業や電気機械器具製造業などでプラス幅が拡大、生産用機械器具製造業がプラスに転換、木材・木製品製造業やパルプ・紙・紙加工品製造業でマイナス幅が縮小

業種別業況感(卸売・小売業、運輸業、サービス業)



(見通し)

- 【卸売・小売業】 7ポイント下降 (前期 △17 → 今期 △24) (資料:北海道)
- ・飲食料品卸売業や建築材料、鉱物・金属材料等卸売業、飲食料品小売業、機械器具小売業、その他の小売業でマイナス幅が拡大
- 【運輸業】 1ポイント上昇 (前期 △32 → 今期 △31)
- ・水運業がプラスに転換、道路旅客運送業でマイナス幅が縮小
 - ・道路貨物運送業や倉庫業などでマイナス幅が拡大
- 【サービス業】 4ポイント上昇 (前期 △16 → 今期 △12)
- ・情報サービス業や物品賃貸業などでプラス幅が拡大、宿泊業や飲食店などでマイナス幅が縮小
 - ・廃棄物処理業でプラス幅が縮小、通信業や広告業、技術サービス業、洗濯・理容・美容・浴場業、娯楽業、自動車整備業などでマイナス幅が拡大

[企業情報]

□企業のみなさまから伺いました

◆百貨店（道央地域）

【売上若干減、インバウンドは好調】

気温の低い日が続いたことにより、夏物衣料の売上が伸び悩んだ。催事により集客は増えたものの、大きな売上にはつながらなかった。

外国人向けの割引カードの配布により免税売上は好調。

◆スーパー（道央地域）

【客数横ばい、売上伸び悩む】

4月は天候に恵まれたが客足は伸びず、売上は若干減少。

アスパラのギフトや冷凍食品の売り上げが好調であった。

キャッシュレス決済の動向については注視していきたい。

◆コンビニエンスストア（道央地域）

【好天に恵まれ堅調に推移】

好天に恵まれ、売上、客数ともに前年と比べて増加となった。

4月は中旬から下旬にかけて気温が上がり、日差しにも恵まれたため、飲料水、アイスや弁当の売上が好調であった。

特に、ゴールデンウィーク期間中の自宅での需要によりアルコール類は全て好調であった。

◆卸売業（建設資材関係）（道央地域）

【最近の売上状況】

近年は、外国人観光客の増加によるホテル建設や札幌市内の再開発事業などの民間工事が堅調に推移している。

今年のゴールデンウィークは10連休だったため、4月に前倒しで建設資材の購入が増え、売上高は前年比でみると増加した。しかし、5月にはその反動減も予想される。

10月に予定されている消費増税の駆け込み需要については、26年4月の消費増税ほど強くはないが、持家について、駆け込みがある程度みられる。

【懸念材料】

原油価格は、建設資材価格に広く波及しているため、動向を注視している。

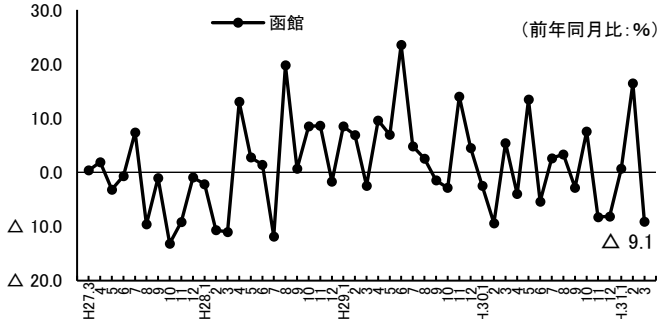
また、人手不足が慢性化しており、工事を受注できないことや、工期のずれが生じている。

[地域の経済動向]

■道南地域(渡島、檜山)

◆新車登録台数(乗用車) (3月)

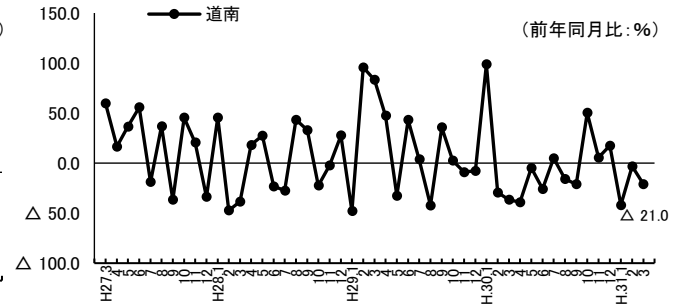
3か月ぶりに前年を下回った



(資料: (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数(3月)

3か月連続で前年を下回った

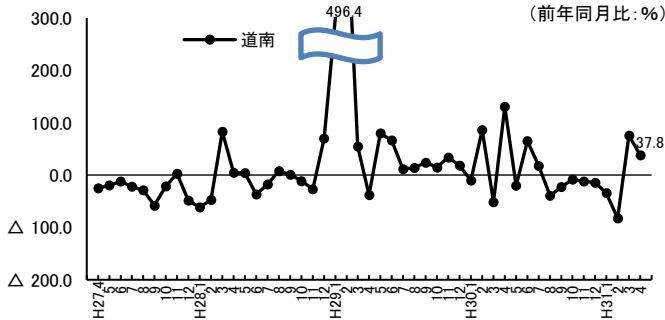


※町村を除く

(資料: 国土交通省)

◆公共工事請負金額(4月)

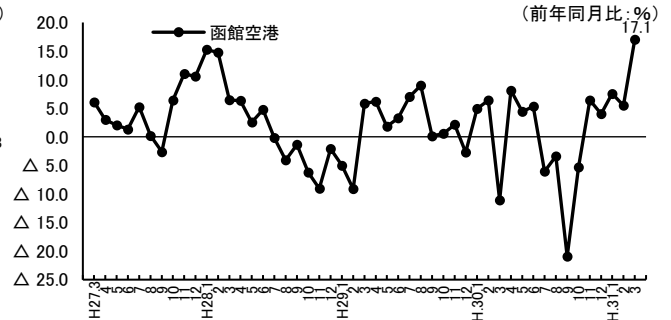
2か月連続で前年を上回った



(資料: 北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着地別)(3月)

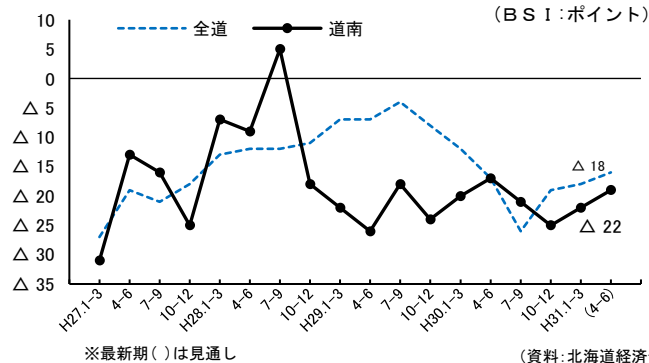
5か月連続で前年を上回った



(資料: (公社)北海道観光振興機構)

◆企業の業況感(1-3月期)

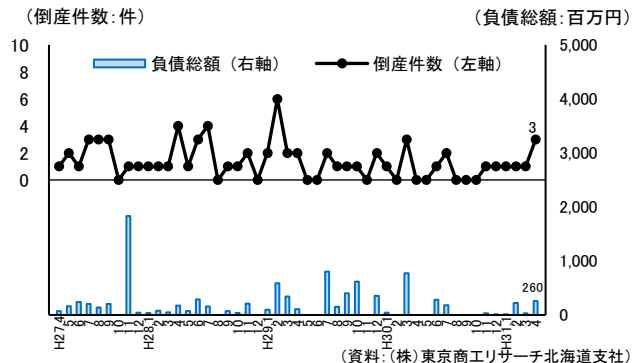
前期からマイナス幅が縮小した



(資料: 北海道経済部)

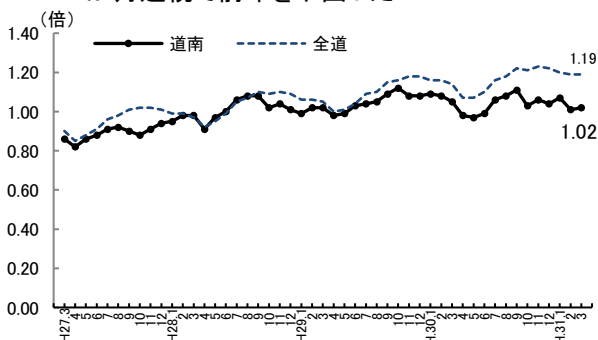
◆企業倒産件数・負債総額(4月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(3月)

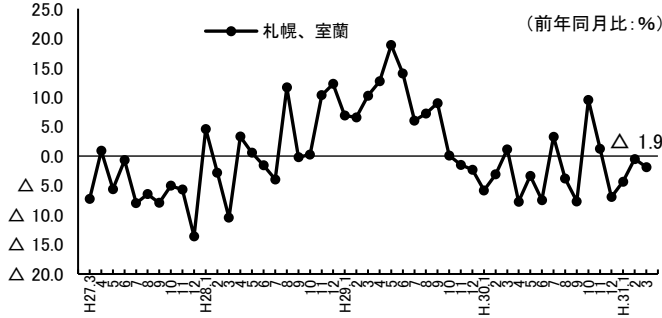
6か月連続で前年を下回った



■道央地域（石狩、空知、後志、胆振、日高）

◆新車登録台数(乗用車) (3月)

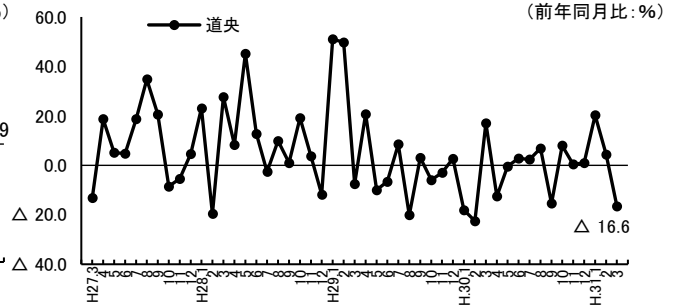
4か月連続で前年を下回った



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数(3月)

6か月ぶりに前年を下回った

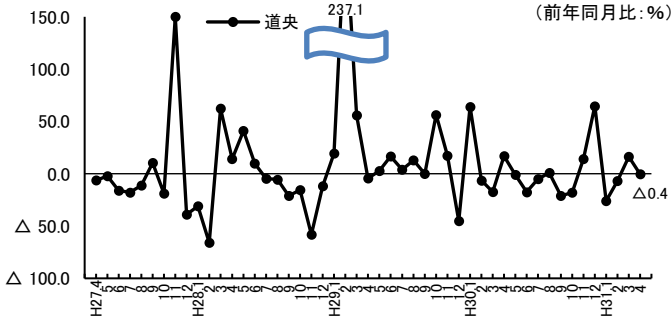


※町村を除く

(資料:国土交通省)

◆公共工事請負金額(4月)

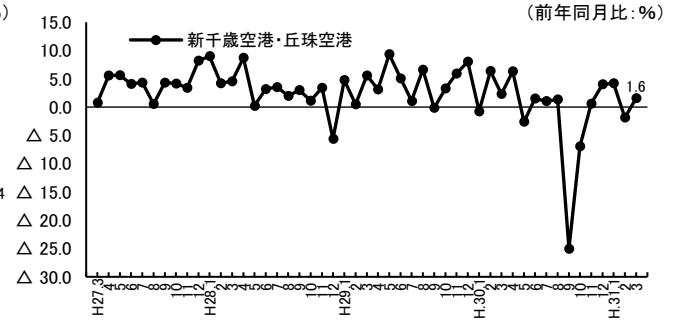
2か月ぶりに前年を下回った



(資料:北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着地別)(3月)

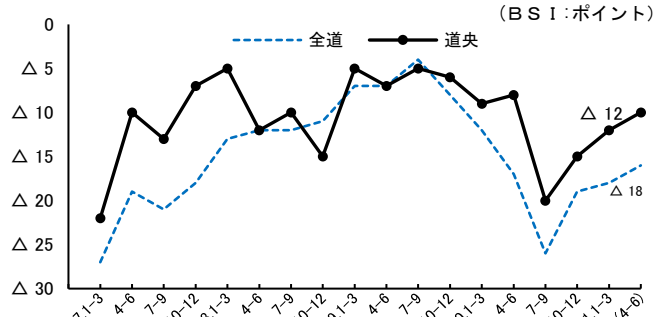
2か月ぶりに前年を上回った



(資料:(公社)北海道観光振興機構)

◆企業の業況感(1-3月期)

前期からマイナス幅が縮小した



※最新期()は見通し

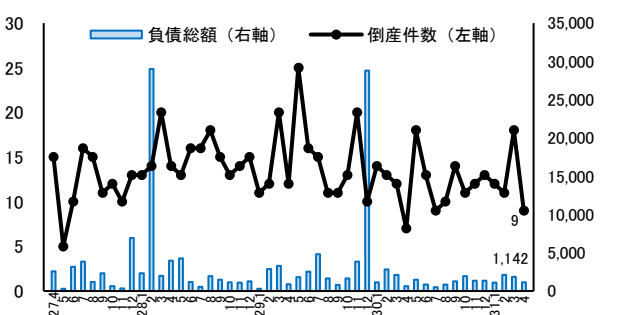
(資料:北海道経済部)

◆企業倒産件数・負債総額(4月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件)

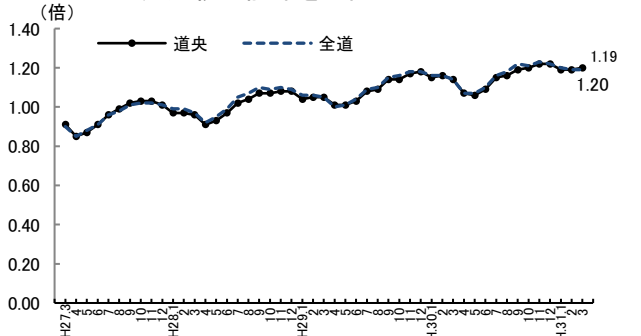
(負債総額:百万円)



(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

◆有効求人倍率(常用)(3月)

109か月連続で前年を上回った

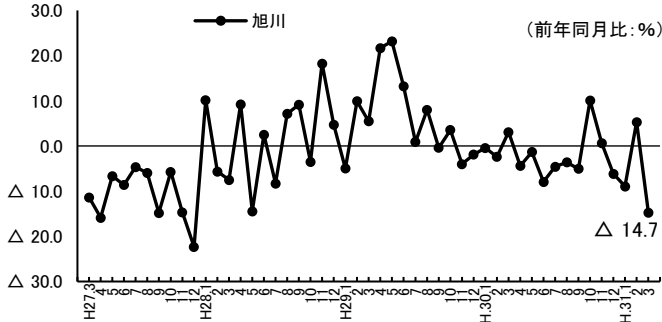


(資料:北海道労働局)

道北地域(留萌、上川、宗谷)

◆新車登録台数(乗用車) (3月)

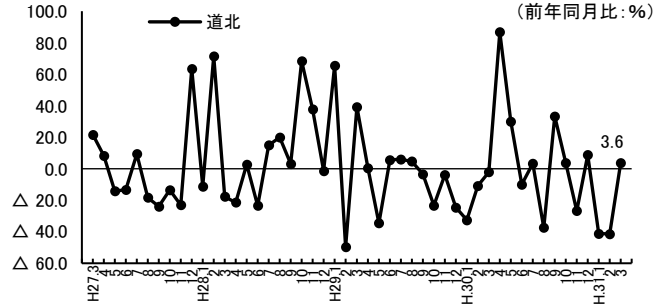
2か月ぶりに前年を下回った



(資料: (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数(3月)

3か月ぶりに前年を上回った

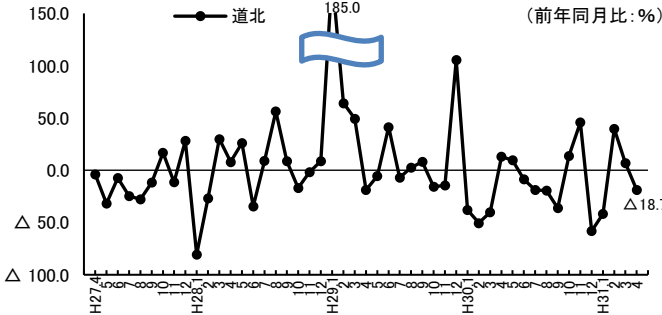


※町村を除く

(資料: 国土交通省)

◆公共工事請負金額(4月)

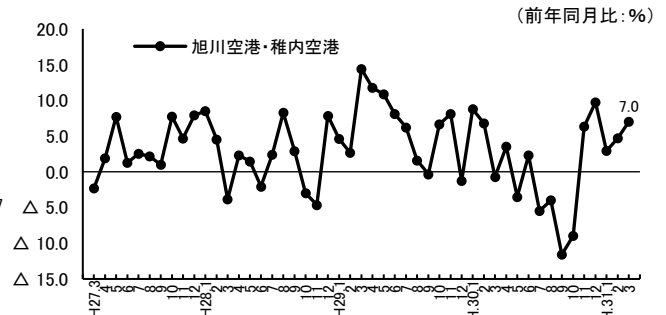
3か月ぶりに前年を下回った



(資料: 北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着地別)(3月)

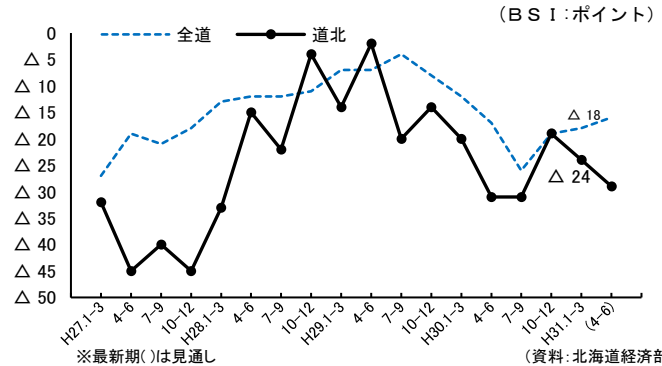
5か月連続で前年を上回った



(資料: (公社)北海道観光振興機構)

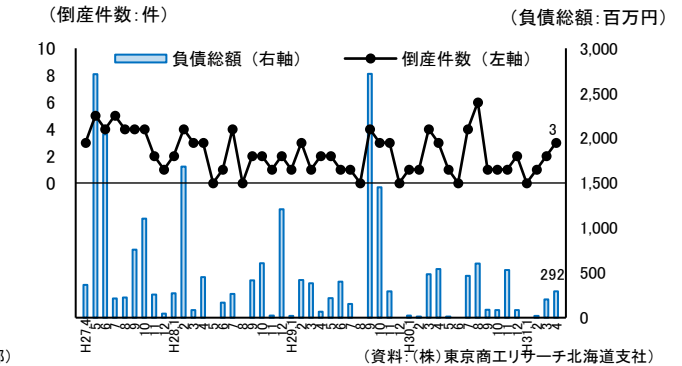
◆企業の業況感(1-3月期)

前期からマイナス幅が拡大した



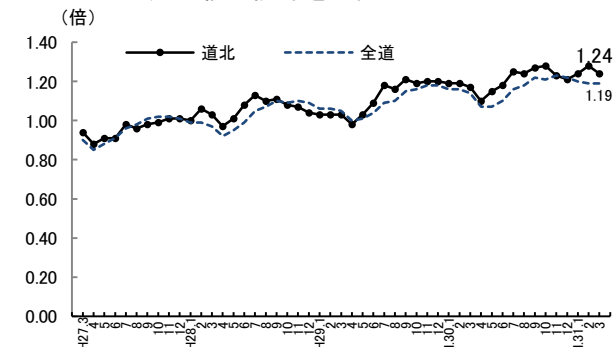
◆企業倒産件数・負債総額(4月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(3月)

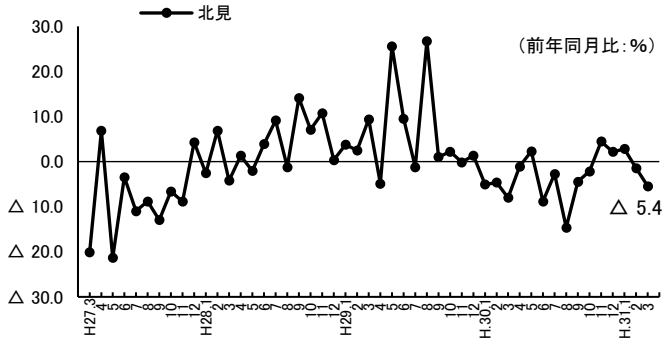
24か月連続で前年を上回った



オホーツク地域

◆新車登録台数(乗用車) (3月)

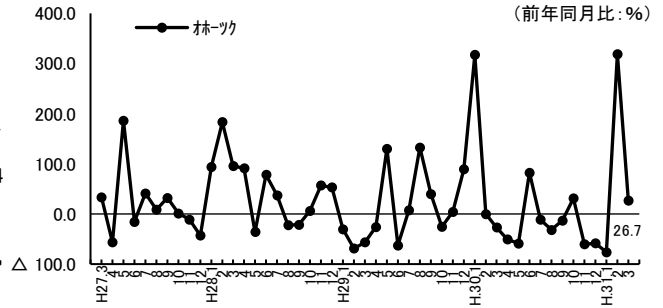
2か月連続で前年を下回った



(資料: (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数(3月)

2か月連続で前年を上回った

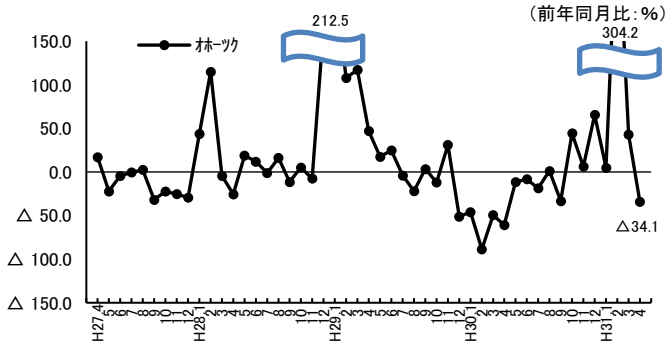


※町村を除く

(資料: 国土交通省)

◆公共工事請負金額(4月)

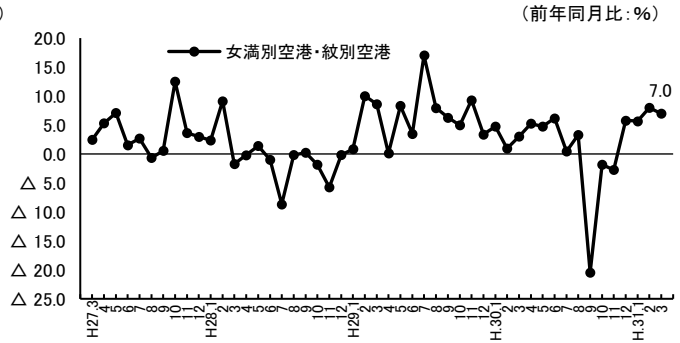
7か月ぶりに前年を下回った



(資料: 北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着地別)(3月)

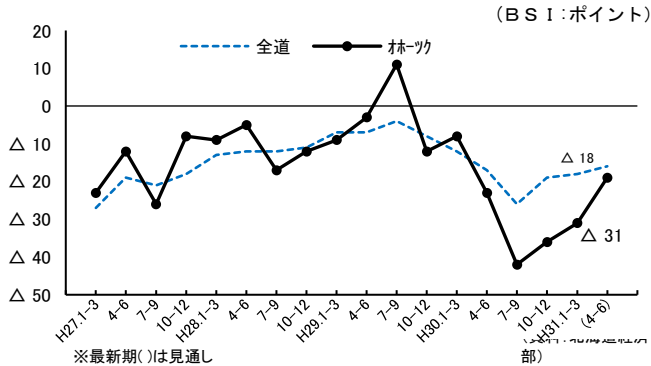
4か月連続で前年を上回った



(資料: (公社)北海道観光振興機構)

◆企業の業況感(1-3月期)

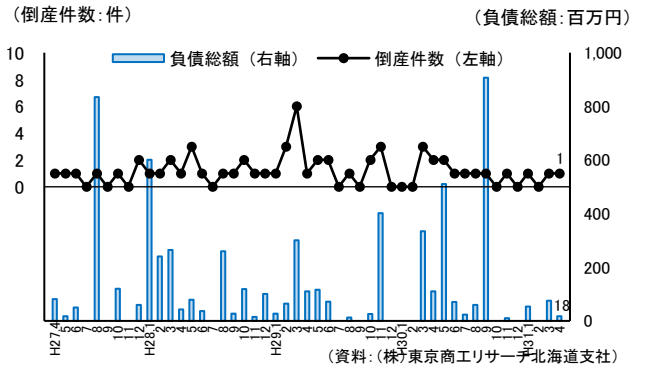
前期からマイナス幅が縮小した



※最新期()は見通し

◆企業倒産件数・負債総額(4月)

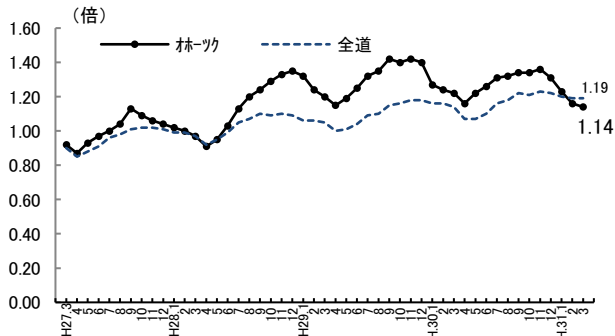
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



(資料: (株)東京商工リサーチ北海道支社)

◆有効求人倍率(常用)(3月)

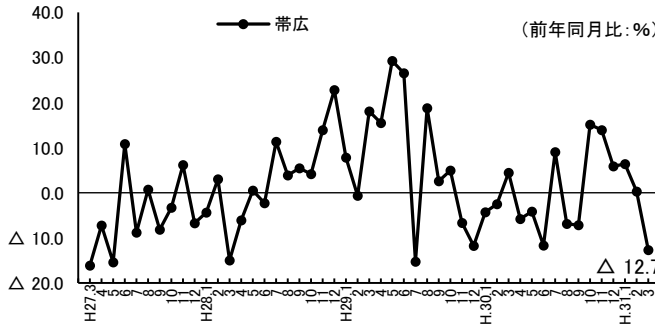
9か月連続で前年を下回った



十勝地域

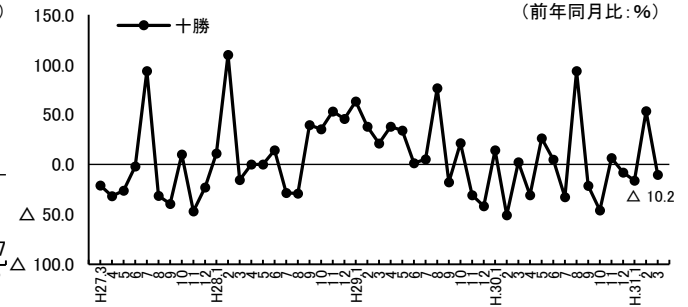
◆新車登録台数(乗用車) (3月)

6か月ぶりに前年を下回った



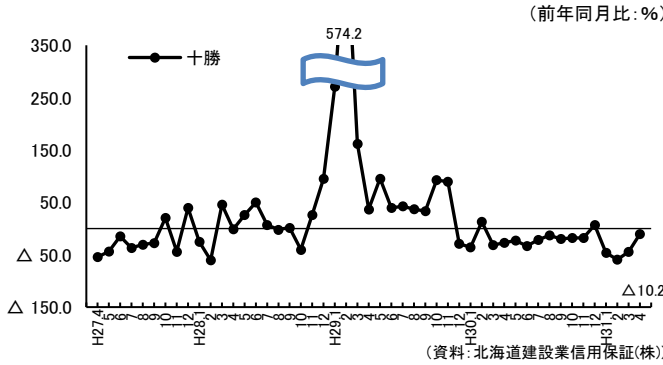
◆新設住宅着工戸数(3月)

2か月ぶりに前年を下回った



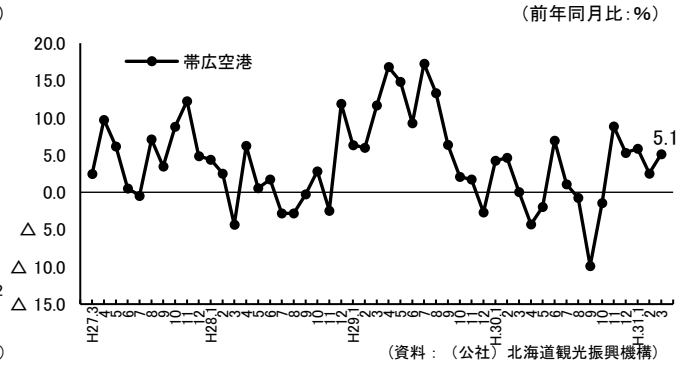
◆公共工事請負金額(4月)

4か月連続で前年を下回った



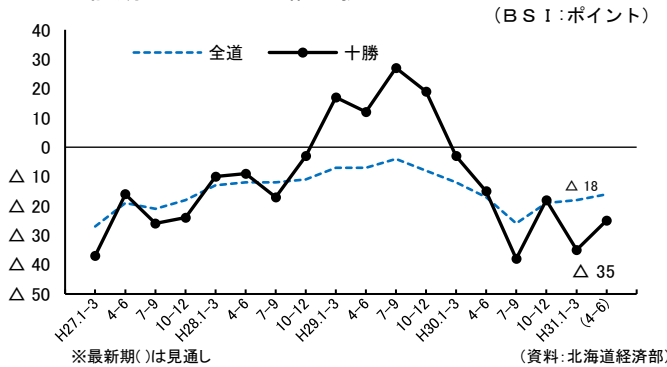
◆航空機利用による来道者数(着地別)(3月)

5か月連続で前年を上回った



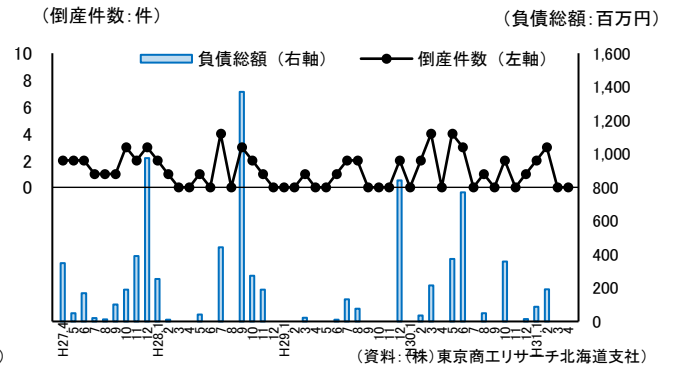
◆企業の業況感(1-3月期)

前期からマイナス幅が拡大した



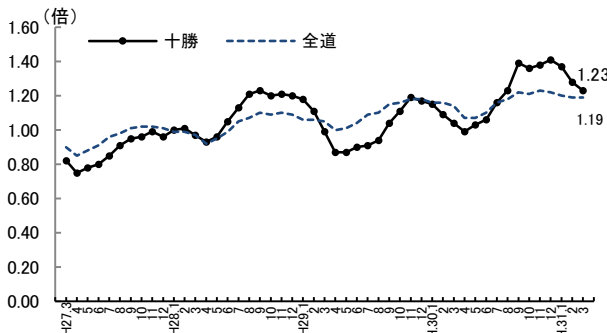
◆企業倒産件数・負債総額(4月)

倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(3月)

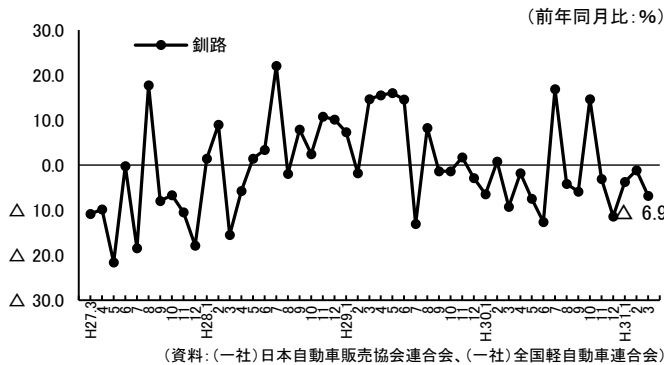
13か月連続で前年を上回った



釧路・根室地域

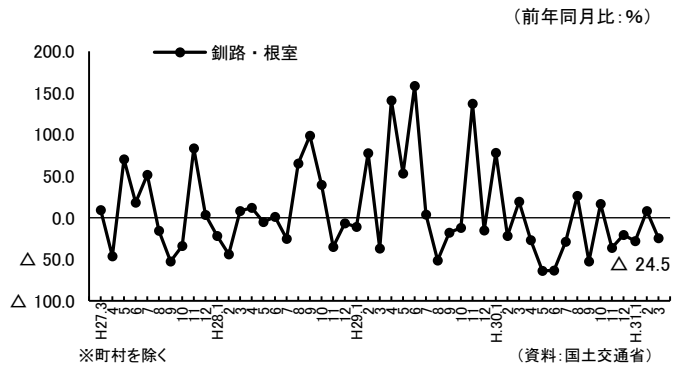
◆新車登録台数(乗用車) (3月)

5か月連続で前年を下回った



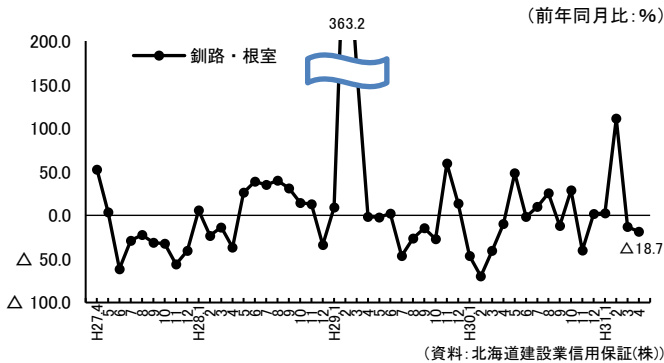
◆新設住宅着工戸数(3月)

2か月ぶりに前年を下回った



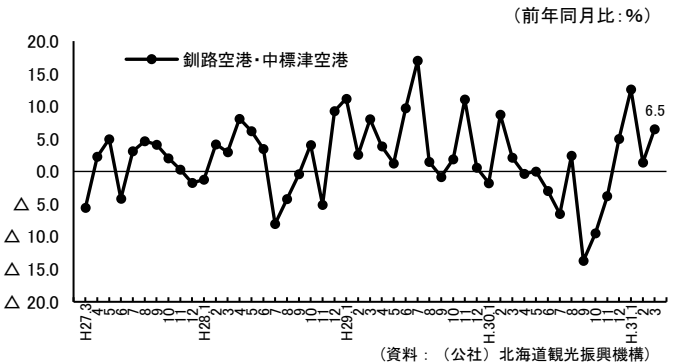
◆公共工事請負金額(4月)

2か月連続で前年を下回った



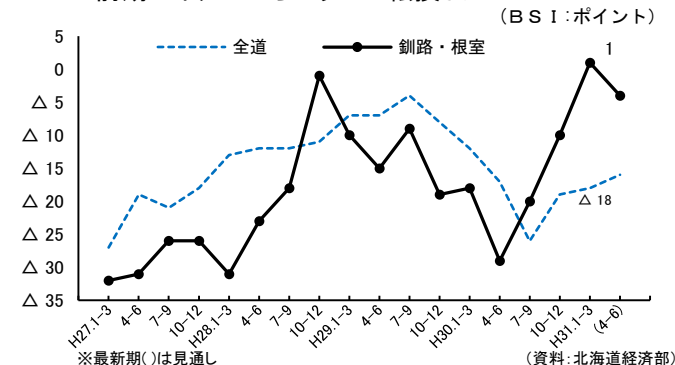
◆航空機利用による来道者数(着地別)(3月)

4か月連続で前年を上回った



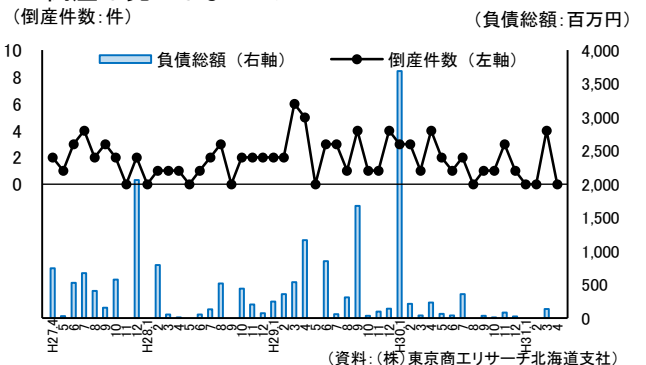
◆企業の業況感(1-3月期)

前期マイナスからプラスに転換した



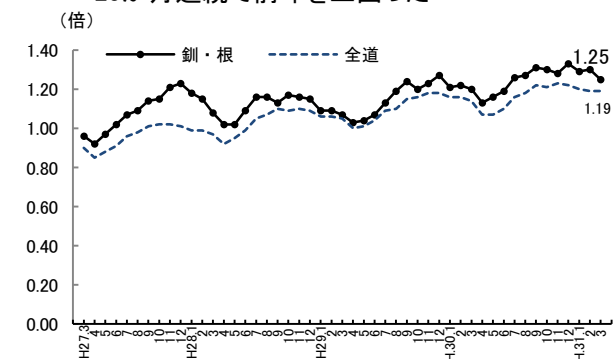
◆企業倒産件数・負債総額(4月)

倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(3月)

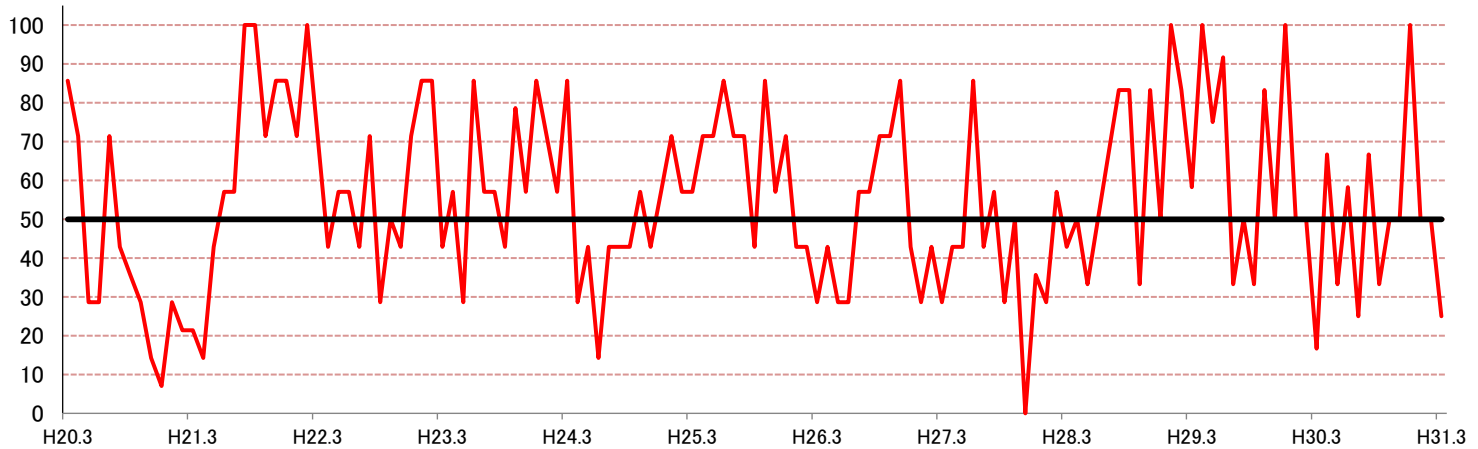
20か月連続で前年を上回った



[景気動向指数]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系列名		30/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31/1月	2月	3月
先行系	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	+	+	+	-	+	-	+	+	+	+	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	-	-	-	-	+	-	+	-	+	-	-	-
	生産指数(生産財)	-	+	+	+	-	-	-	-	-	+	-	r +	p -
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	+	+	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-
	新設住宅着工戸数	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	+	-	+
	企業業況判断DI	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	拡張系列数	3	6	5	3	0	3	1	4	2	5	2	4	2
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	42.9	85.7	71.4	42.9	0.0	42.9	14.3	57.1	28.6	57.1	28.6	r 57.1	p 28.6
一致系	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	-	-	0	0	+	+	+	+	+	+	+	0
	生産指数(鉱工業)	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	-	r -	p -
	出荷指数(生産財)	-	+	+	-	-	-	-	-	-	+	-	r +	p -
	百貨店販売額(既存店)	-	+	-	+	-	+	-	+	+	+	+	r -	p +
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	-	-	-	-	+	-	-	-	+	+	+	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	+	-	+	+	+	+	+	+	+	-	r -	p -
	拡張系列数	1	4	2	3.5	1.5	4	2	3	3	6	3	3	1.5
	採用系列数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	一致指数	16.7	66.7	33.3	58.3	25.0	66.7	33.3	50.0	50.0	100.0	50.0	r 50.0	p 25.0
	遅行系	常用雇用指数(規模30人以上)	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+
完全失業率(逆サイクル)		+	-	-	-	0	0	0	-	-	-	+	+	+
消費者物価指数(総合)		+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	-	0
家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)		+	-	+	-	+	+	-	-	-	+	+	+	+
生産指数(資本財)		+	-	+	+	+	-	-	+	+	+	+	r +	p -
拡張系列数		4	1	3	2	3.5	2.5	1.5	2	1	2	4	4	3.5
採用系列数		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数		80.0	20.0	60.0	40.0	70.0	50.0	30.0	40.0	20.0	40.0	80.0	r 80.0	p 87.5

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
令和元年5月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>